

TRACK BACK

From Reader's Voice

このコーナーではブログやメールを中心としてインターネット上に掲載されている皆様のご意見を掲載しております。本誌に関するご意見やご感想、またインターネットに対する疑問、質問、あなたの考え方など皆さんの発する情報に誌面で「トラックバック」を行っていきたいと思います。メールでのご意見ご感想もお待ちしております。

im-info@impress.co.jp

日日良良

<http://rnwega.exblog.jp/>

*

*

いよいよWeb2.0が、ドットコムブーム以来のネットバブル化になりそう。

インターネットマガジン 2006年01月号でも特集されました。

と、いっても前にWEB上で話題になったティム・オライリー氏のWeb2.0論文の焼き直しだけ。でも、日本のサイトをケーススタディーにしている分、こっちの方が取っ付き易くなっています。

で、そんなWeb2.0でも「集合知」というのに、僕は関心がある。

集合知とは、ユーザー同士が情報を提供し合ったりすることで、大きな力(便利)になるというもの。フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』とか、はてなの「はてなブックマーク」等が良い例です。

しばらく前までは、インターネットで用語調べをする際、エキサイトやgoo等の辞書アプリを使っていたが、今はまずwikiで調べる。

また、「あれれ?」と思うような検索結果は、ある特定の人がディレクトリしたり、企業の操作(SEOとか)によるもの。あのグーグルだって最大公約数的検索エンジンのため、コアな情報とかになかなかたどり着けなかったりする。

そんな時、「はてなブックマーク」は、ユーザーが関心あること(ブックマーキング)順に検索結果が出てくるので、「まさに今話題になっている」みたいな事を調べたりするのに、凄く便利。

こういう時代、やはり主役は「ユーザー(一般人)」なのです。その一般の人たちがネットワーク上で協力しあってできたコネクティブワーは恐ろしい。そして、的確なのです。

ネットワーク社会で、大きな力というのは、会社の資本規模とか、電波等のインフラ規模とかではない。ユーザーのアクションを促すような「情報」が大きな力を生む。

その情報源は、最初はマスかもしれないが、情報を大きくするのはチャンネルや視聴率ではない。

ユーザーの参加があって初めて大きくなる。

これこそ、Web2.0的ネットワーク時代です。その時代の幕開けが、既に垣間みれる。急がなきゃ!!

~おまけ~

検索結果を自動分類する検索サービス「Clusty.jp」日本語版が開始されました
「集合知」に対抗するプログラマー。しかし、これは便利かも。

de-sign.log

<http://blog.de-sign.org/>

*

*

iINTERNET magazine 2006年1月号 Amazonから「1つ上のアイデア。」を買った人は「iINTERNET magazine 2006年1月号」を買っています。なんてメールが来まして、大きなお世話だろ!と思いつつ紀伊国屋に寄ったときに買ってしまいました。

Web2.0って?うまく整理してあるのでおすすめ。

薄い雑誌の割りに¥1000もするのでちと高いのですが...

お詫びと訂正

本誌2006年1月号(No.132)にて以下の誤りがございました。ここに訂正するとともに、ご迷惑をおかけした読者ならびに関係者各位にお詫び申し上げます。

【p.73】「ECナビ」のニュースにおいて、URLが間違っておりました。正しくは<http://labs.ecnavi.jp/>です。

編集部より



今月号の表紙には編集部でも人気のwakamaruが登場です。このwakamaru、実は表紙以外にも登場しています。そこで特別企画「2月号にwakamaruは表紙を含めて何か所登場しているか?クイズ」を実施します。正解がわかった方は件名に「インターネットマガジン2月号クイズ係」と書いて、以下のアドレスに「wakamaruの写真が載っているすべてのページ番号」を書いて以下までお送りください(2006年1月9日23:59締切)。

im-info@impress.co.jp

正解者の中から抽選で5名様にインターネットマガジン3月号をプレゼントします。みなさんお気軽にご応募ください。ご感想もよろしくお願ひします。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp